

第四回伝道プラットフォーム

戦前・戦中の中国伝道(3)

青島・天津・北京・保定・杭州

親神様の人間世界創造の目的である陽気ぐらし世界実現を目指し、多くの先人が世界の各地に出かけ救済活動に身を投じた。中国もその伝道地の一つであった。しかし、先の大戦における日本の敗戦によって、教会も日本人信者も総引き揚げとなった。おやさと研究所では、世界たすけ推進に寄与するため、伝道についての研究を行っている。近年、戦前、戦中の中国伝道に焦点をあてて調査研究を進めている。その一環として、このたび中国伝道に関わりのある方をお招きしてお話しを伺い、先人の業績をおしのびすると共に、今後の伝道の糧とするためフォーラムを開催することにした。

大化教会(青島)



杭州天理復興小学校



保定天理日本語学校



日時：2008年2月25日(月)午後2時半～

会場：天理大学研究棟3階第2会議室

講演者： 近藤徹雄(大化分教会)
坂本正雄(北奥分教会)
鈴木淑子(本杭州分教会)
深川治道(おやさと研究所)

主催：天理大学 おやさと研究所